

12/13 (水)

18:30 ~ 20:30

於：キャンパスプラザ京都第一講義室 (5F)

参加費 500 円 (院生含む学生、障がい者、生活困窮者は無料)

「これからの日本、これからの教育」(前川喜平/寺脇研, ちくま新書) 刊行記念

これからの日本、これからの教育

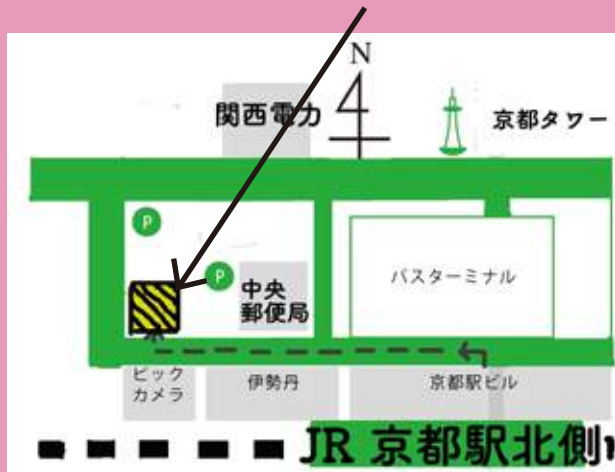
# 前川喜平さん講演会

前文部科学事務次官



「あったものをなかったものにはできない」「行政がゆがめられた」  
加計学園に関し、官僚トップにいた人の証言は前代未聞で、衝撃的でした。  
前川さんは新著でこう言います「権力の集中によって驕りが生じている。」  
「国民の税金を使って、一部の人をもうけさせるようなことを、「岩盤規制  
にドリルで穴をあける」とか「既得権益の打破」といって、それらしい言  
葉で説明しさえすれば、国民を納得させられると思いなしている」

【会場案内】キャンパスプラザ京都



■会場：キャンパスプラザ京都第一講義室 (5F)

■日時：2017年12月13日(水) 18:30 ~ 20:30

■主催：前川喜平さん講演会実行委員会

■賛同：ユナイトきょうと

自由と平和のための京大有志の会

市民環境研究所

アジェンダ・プロジェクト

使い捨て時代を考える会

安全農産供給センター

■連絡先：京都大学教育学部駒込研究室

TEL & FAX 075-753-3034

■参加費：500円 (院生含む学生、障がい者、生活困窮者無料)

12/13(水)  
18:30 ~ 20:30

於：キャンパスプラザ京都第一講義室 (5F)

参加費 500 円 (院生含む学生、障がい者、生活困窮者は無料)

「これからの日本、これからの教育」(前川喜平/寺脇研、ちくま新書) 刊行記念

# これからの日本、これからの教育

復古主義的なナショナリズムと、弱肉強食を放置する市場主義が勢いを増す中で、加計学園の問題は起きた。



## 前川喜平さん 講演会

前川喜平さん

1955 年生まれ。東京大学法学部卒業。79 年、文部省(当時)へ入省。12 年に官房長、13 年に初等中等教育局長、16 年に文部科学事務次官を歴任。17 年、退官。現在、自主夜間中学のスタッフとして活動。

17 年 7 月 10 日、学校法人「加計学園」の獣医学部新設計画をめぐって衆院文部科学、内閣両委員会による閉会中審査に参考人として出席。

### 「これからの日本、これからの教育」(ちくま新書) より

- ・1 人ひとりの生きる力をサポートするのが教育の使命。
- ・子どもの貧困は、深刻の度が一段と増している。こうした中で、弱肉強食の市場競争に教育をさらしてしまっているのだろうか。そうではなく、充実した教育をこの社会が、私達がすべてのこどもに用意することが、本当の意味での格差解消につながるのではないだろうか。
- ・内閣府の人たちのように、一にも二にも規制緩和という役人と、みんなが安心して暮らせるような土台を、しっかりメンテナンスしようとしている役人と、どちらが国民にとって必要な存在なのか？
- ・外交にせよ、内政にせよ、行政の全般にわたって、総理官邸にいる「秘書官」「補佐官」「参与」などの肩書をもった人たちが、いわば跳梁跋扈している状況があります。
- ・まるで行司が自分の都合のいいようにルールを決めて、自分で相撲をとっているような話です。こんな内輪の理屈で説明しても、国民に対する説明責任は果たしたことはありません。
- ・「あったものを、なかったことにすることはできない」一。そう証言することが、本当に意味での「全体の奉仕者」としての務めを果たすことになるだろうし、民主主義を維持していくためにも、密室の中での出来事のままにしておくのはよくない。そう思った。